

就業のための日本語習得事業【三重県】

事業紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【教育・文化分野】

昨年からの経済の悪化で失業し、再就職を望む在住外国人から日本語学習の希望の声が多く寄せられていました。日本語だけでなく日本の習慣、常識、ルールなどを知らないまま、長年日本に暮らしている人がいます。外国人にとっても、日本語学習の機会ができたことは重要ですが社会の隣人として向き合う、日本人にとっても大事な事業を行うことができたと思います。



NPO法人愛伝舎
理事長 坂本久海子さん

事業概要

就労のための専門的な技術習得や介護技術の習得等に必要な基本的な日本語能力を外国人労働者に身につけてもらうため、日本語講師を雇用し、日本語教室を開催する。

委託先

NPO法人愛伝舎（2005年設立）
所在地：三重県鈴鹿市、従業員数：6名

新たな 雇用者数

2名

事業費

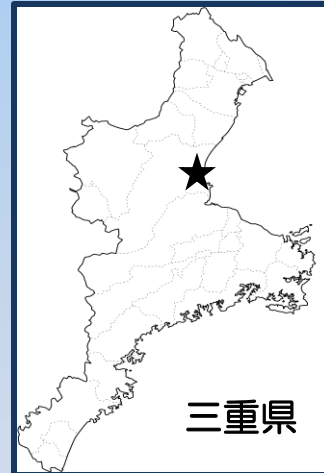
約859万円（平成21年度）

事業開始

平成21年6月～

事業内容

日本語能力が十分でない外国人に対して就労のための日本語の講義を行うとともに、受講終了後の就労に向けた支援等を行う。



三重県

授業の様子



ポイント!
日系人が多く
住む団地の公民館
を活用して授業を
行っています。

地域雇用失業情勢 (事業開始時点の有効求人倍率)

- 三重県 0.39倍
(季調値)
- 鈴鹿管内 0.26倍
(原数値)

日本語教師のみなさん



日本語教師
大津さん

日本語教師
坂井さん

私も日系人で、日本に来てから日本語を学びました。日本語の文法の難しさはよく分かるので、ポルトガル語で日本語がまだよく分からない生徒さんに説明したいと思います。毎週の授業で、生徒さんが上達しているのを実感できて嬉しいです。

受講生さん達が、日本で仕事をして生活できるようになることが私たちの願いです。外国籍の方々が少しでも生活しやすくなれば、と思っています。

受講生のみなさん



受講生
シモネさん

始めたときは、日本語が何も出来ませんでした。今は、平仮名、カタカナはほぼできます。自分のためにもっと勉強したいと思っています。

この学ぶチャンスをととてもありがたいと思っています。就職するチャンスも大きくて、もっと自信を持ってやっていけるとおもいます。



受講生
リリさん



この教科書とノートを使って、日本語を勉強しています！！

今後の抱負（坂本理事長）

外国人の日本語学習の意欲は、たいへん高くなっていると思います。日本で暮らしていく上で、日本語ができるということは自立して暮らす第一歩ですし、職業や生活の場面に合わせた授業を行うなどこれからも日本語教室の運営を進めていきたいと思っています。

ふるさとコミュニティ・ビジネス創出支援事業 【兵庫県】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【産業振興分野】

豊かな自然環境や地域資源を有する但馬・丹波・淡路地域でのコミュニティ・ビジネス(以下、CB)等の起業・就業を促すため、起業・就業支援のノウハウを持つ中間支援組織を活用し、同地域でのCBの啓発・指導を行っています。

兵庫県



事業概要

但馬、丹波、淡路地域で、コミュニティビジネス(CB)啓発・指導等を行い、多様なCBの創出を図る。

委託先

- ・宝塚NPOセンター
- ・コミュニティ・サポートセンター神戸
- ・シーズ加古川

新たな 雇用創出数

7人

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の
有効求人倍率)

兵庫県0.47倍
(季節調整値)

事業費

16,997千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

業務内容

ふるさとCB指導員により、但馬・丹波・淡路地域でのCB起業を希望する団体等に起業実践例等を啓発・指導する。

失業者等を雇用しようとする但馬、丹波、淡路地域のCB団体等の掘り起こしを行う。

但馬、丹波、淡路地域のCB団体等と都市部の団体との協働による都市農村交流事業を実施する。



丹波地域ふるさとCB指導員と
事業スタッフ一同